

令和7年度DSO総会・第1回懇話会の開催報告

- 【日 時】 令和7年9月10日(水) 10:00-12:00
- 【行事名】 令和7年度DSO総会、第1回DSO懇話会
- 【対 象】 DSO参加機関
- 【方 式】 オンライン (Microsoft Teams)

■令和7年度DSO総会議事

1. 令和6年度活動報告
2. 令和7年度活動計画 (案)
3. 令和7年10月以降のDSO News Letter の方向性について
4. つくば女性研究者支援協議会との連携について

令和7年9月10日に、本年度第1回目となるDSO総会・懇話会をオンラインで開催しました。総会には13機関が出席し、委任状提出7機関のもと、上記の4つの議事について報告、並びに審議・承認されました。また、DSO次期会長には、NIMS（物質・材料研究機構）の鎌田俊彦理事が選出されました。総会に引き続き行われた懇話会では、森林研究・整備機構の宇野理事による開会挨拶に続いて、以下の3つのセッションごとに発表および質疑応答が行われました。



■第1回DSO懇話会テーマ

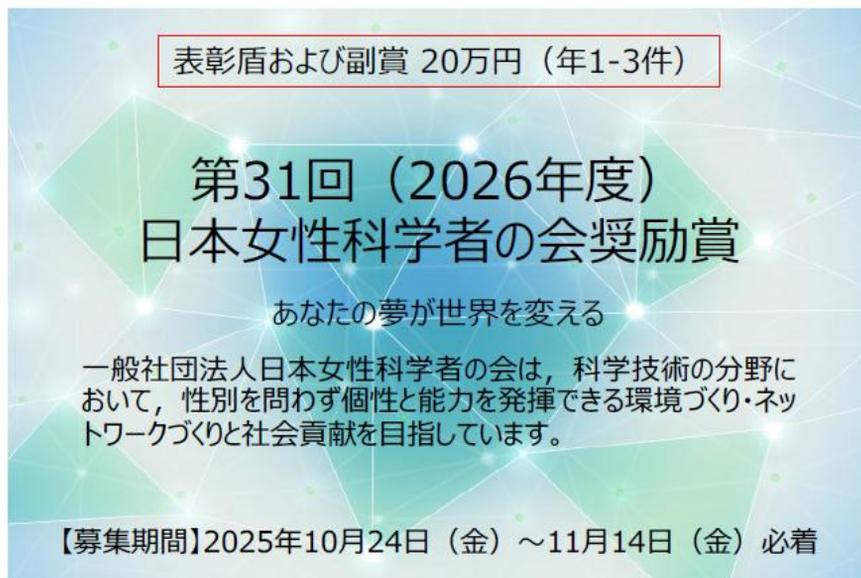
- 【セッション1】 1) 育児・介護休業法の改正対応について (その2)
- 【セッション2】 2) ダイバーシティ推進にかかる中長期計画の数値目標について
- 【セッション3】

【意見収集】 ①DEIの風土醸成

【意見収集】 ②若手研究者の雇用方法、エンゲージメント向上やキャリア形成について

セッション1の育児・介護休業法の改正対応では、柔軟な働き方を実現するためのフレックスタイム制度やベビーシッターの補助制度について各機関の取組みが紹介されました。続くセッション2では、ダイバーシティ推進にかかる中長期計画の数値目標をテーマに、女性管理職割合を増やすための具体的な対策について活発な意見が交わされました。セッション3の前半、DEIの風土醸成に関しては、アンコンシャスバイアス研修、職員の併任制度などが紹介され、充実した質疑応答が展開されました。セッション3の後半では、学位取得支援制度の運用に関する情報共有が行われました。最後の全体討論では、米国におけるダイバーシティ推進の方針転換に対して、各機関の現状や課題について、それぞれの立場から情報交換が行われました。閉会にあたり、産業技術総合研究所の川勝室長よりご挨拶があり、全プログラムが終了しました。総会・懇話会の詳細については、別途各機関の担当者にお送りしました総会・懇話会の議事録をご覧ください。

第31回 日本女性科学者の会 (SJWS) 奨励賞の募集



表彰盾および副賞 20万円 (年1-3件)

第31回 (2026年度) 日本女性科学者の会奨励賞

あなたの夢が世界を変える

一般社団法人日本女性科学者の会は、科学技術の分野において、性別を問わず個性と能力を発揮できる環境づくり・ネットワークづくりと社会貢献を目指しています。

【募集期間】2025年10月24日 (金) ~11月14日 (金) 必着

日本女性科学者の会奨励賞は、広く理系の分野において研究業績をあげ、その将来性を期待できる方で、かつ本会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会会員 (応募と同時に入会可、男女を問わない) に対し、今後の活動を奨励するために設けられた賞で、今回で31回となります。女性研究者のプロモーションにも貢献しております。

【対象者】

広く理系の分野において研究業績をあげ、その将来性を期待できる方で、かつ本会の趣旨に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会正会員および学生会員を対象とします。年齢、国籍、性別は問いませんが、管理職 (教授、部長等) にある方はご遠慮下さい。自薦・他薦は問いません。

【応募書類・応募方法】

本会所定の書式・論文リスト・関連する主要論文 (3編、なお主要論文は過去5年以内のものとする) をEメールにて提出して下さい。詳細はHP (<https://sjws.or.jp/>) をご覧ください。

【提出先】

日本女性科学者の会奨励賞担当宛 E-mail: award@sjws.or.jp

【決定時期】

2026年3月頃 (メールにて本人宛通知)

事務局からのお知らせ

今回の総会をもちまして、農研機構のDSO事務局としての任期は満了となり、NIMS (物質・材料研究機構) に事務局が引き継がれます。1年間ありがとうございました。弊機構は引き続きDSO幹事機関として努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ ■ ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内 ■ ■

ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO*) は、研究教育21機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画などダイバーシティに関わる活動を連携して推進しています。主な活動の一つとして、参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行なっています。当初は科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所、情報通信研究機構 (加入順)